

氏名

法人理念	「 礼に始まり 礼に終わる 」
園理念	「 笑顔いっぱい 友だちいっぱい やる気いっぱい 」

1 教育保育目標

心豊かなたくましい子	・基本的な生活習慣を身につける ・思いやりのある子に育てる ・仲よく遊びやる気をそだてる	○げんきな子 ○やさしい子 ○気づく子
------------	--	---------------------------

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標

○「教育課程・指導」「安全教育・危機管理」「園内研修の充実」	○基本的な生活習慣の形成
○聞く・話す態度の育成	○道徳性の芽生えを培う

（前期の集計）

5点:達成されている 4点:概ね達成 3点:もう少し努力を要する 2点:努力を要する

評価内容		前年度	今年度
（展ねる 教開ら 育しい 課改に 程善沿 す る 力 保 育 を 適 切 に	①ねらいに沿った保育展開が適切にできている。 （好きな遊び、学級全体の活動、1日の生活の流れ等）	3.9	4
	②年間指導計画は、効果的な実践ができる様に作成されている。	4	3.8
	③園計画に沿って効果的な学級経営を行なっている。	3.9	3.7
	④マネジメントサイクル 計画(P)・実行(D)・改善(A)を行なっている	3.8	3.9
	⑤聞く・話す・やる気・工夫等の学びの育成 （動と静のバランス・主体性を育む等）	4	3.7
	⑥特別支援に理解を深め、一人ひとりの育ちにあった支援を実施しているか （インクルーシブ）	4	3.8
	⑦見通しのある保育展開が適切にできている。 （長期計画を見通しながら具体的な目標を達成していく）	3.8	3.5

（の幼児 環境の を健康 構成全 成えな る 育 成 の た め	①掲示物、名前の表示などは人権に配慮したものとなっている。	4.7	4.7
	②朝の環境構成ができている。（保育室の喚起、遊びの場、必要な教材の準備など）	4.1	3.9
	③保育室の美的環境・保健衛生に配慮している。 （整理整頓、手洗い場、ゴミ袋、ピアノの上）	4	3.6
	④絵本棚に置く絵本などを幼児の興味・関心や季節に応じて変化させている。	4.2	3.5
	⑤季節に応じて幼児の作品や自然物を取り入れて構成し変化させている。	4.3	3.8
	⑥動植物に興味や関心が持てるように栽培をしたり、環境ういお整えて記録をとって	4	3.8

(適性一人ひとりの援助をねらいとして)	①明るく笑顔で幼児を迎え、一人ひとりとコミュニケーションをとることに努めている。	4.7	4.5
	②明るく元気に園児と遊び、活動が発展するような工夫や構成を考えている。	4.3	4.2
	③歌の指導や楽器の扱い方の指導ができています。	3.5	3.3
	④遊びの片付けや身辺自立に向けた生活指導に関わる指導適切にができています。	4.1	4
	⑤絵・政策の指導や用具の扱い方の指導ができています。	4	3.6

(い対保 く応護 保者者 と力に 連適 携切 し て)	①保護者に進んで挨拶をしたり話しかけたり、コミュニケーションを取るように努めている。	4.4	4.1
	②保護者会や個人面談などに資料を準備し臨(のぞ)み、話し合いができるようにしている。	4.1	4.1
	③クラス便りやホワイトボードにて遊びの様子や成長を共感できるように伝えている。	4.1	4
	④保護者からの質問に誠実に応対し、適切な説明に努めている。	4.4	4.4

力連学 (保続 ・び こ・性 小を見 通達 すの)	①小学校との連携を図るため、具体的な取り組みを行っているか	3.8	3.1
	②地域の保育園や小学校と連携を図り、就学前に向けて交流活動に努めている。	3.6	3.2
	③地域を学習の場にしたり、地域との人材を活用したりしている。	3.5	3.5
	④小学校就学までの連続性を考えて、見通しを持った保育・教育の取り組みを行っている。	4	3.8

務るる学 (力事級 学務経 級営 事処に 理関 すわ)	①学級事務や取り扱いについて把握できている(出席簿、健康診断票など)	4.3	4.2
	②こども園園児指導要録、学籍に記載する事項および記入・提出時期を把握している。	4.2	4.1
	③公簿(幼児出席・幼児健康診断票・指導要録等)を適切に記入し、保管している。	4.1	4.4
	④情報の共有化がなされ、周知する文章・報告書等を速やかに伝達している。	4.5	4.4

力企園 (画務 園に 務・お 立い 分て 掌する)	①担当分掌の仕事を企画・立案、責任を持って遂行している。	4.3	4
	②園行事の準備や指導に積極的に取り組んでいる。	4.4	4
	③計画書・報告書・記録などの作成に際して、ゆとりをもって提出している。	4	3.6
	④園務分掌はリーダーシップを発揮して、園務の処理に当たっている。	3.7	3.6

携(行円シコ切上 職で滑ヨミな司 員に園ンユや 間の務をニ同 の力図ケ僚 連をリと 達、適)	①自分から進んで職員に明るく挨拶をしている。	4.5	4
	②悩みや分からない事を園長や副園長・主幹・他の職員に自分から相談している。	4.4	4.6
	③自分から積極的に他の職員との協力・共同に努めている。	4.3	4.2
	④研修を通じて学んだ知見を園内で共有するよう努めている。	3.7	3.2

(安全 教育 環境 を整 えら せる 力に 関す る)	①保育室・遊戯室・園庭の使用前に安全点検や確認をしている。	4.2	4
	②園児の事故や怪我に対して園長に報告し、職員間で連絡を取り合い迅速に対応して	4.6	4.2
	③災害時の避難方法について把握できている。	4.3	4.2

(関 連 機 関 と の 連 携 機 能 を 高 め る 力 に 関 す る)	①特別な支援を必要とする園児への対応について、関係諸機関の連携を取る。	3.9	3.5
	②家庭や地域での遊びや生活も考慮して指導計画の立案や指導を行っている。	3.5	3.3
	③地域で活躍している方、地域の行事、公園、児童館、図書館、公民館など地域の資源を	3.5	3.4

(求 め ら れ る 能 力 に 関 す る)	①具体的に保育を構想する力や実践力を磨く為、自ら生活体験や自然体験、社会奉仕体験を積むように努める。	3.9	3.7
	②指導力を高める為、運動遊びや読み聞かせ等、自らの得意分野の向上・開発に向け	4.2	4
	③インターネットなど情報通信技術を活用して、情報の収集や発信ができるように基礎を学んでいる。	4.3	3.9
	④社会の変化やこども園に対するニーズの変化を適切に捉える力を身に付けるよう努めている。	4	3.9

(準 備 材 料 の 整 え に 関 す る)	①指導や遊びに必要な教材を自分で作っている。	4	3.5
	②園児の活動や発達に沿った指導や教材の準備ができている。	4.2	3.4
	③ピアノ。演奏の技術が高まるように練習している。	4.1	3.9
	④自分が得意とする技術をより向上、開発するように努めている。	4.2	4

意見・感想・反省・問題点・改善点・良かった点等(後期)

- ・交流時間で子どもとゆったり関われる時間がもっと増やしたい！ やることが多い年長の活動の中でセカセカ動きながら自分反省。担任業務、あと残り3か月と思うと寂しい・・・悔いのない時間にしていきたい。
- ・どう伝え方がいいのか聞き、実践しても上手く伝わらなかった。
- ・今年度は新しい業務が増えて、要領が悪かったり、取り組むのが遅かったりした。見通しを持って計画し、業務を進めていけたらと思った。一緒に組んでいる担任がやりたいことを自由にさせてくれるので、楽しく保育できた。自分自身、環境が全然できていなく前期の反省でもあったので、後期は各クラスの環境を参考にしながら取り入れていけるようにした。前期に比べて子ども達も環境に自分から関わる子が増えたと感じる。でも、まだまだなので色々な所からアドバイスをもらったり、試したりしていく。栽培ももっと頑張っていきたい。
- ・個別での対応や保護者とのやりとりを細かくやっていたが、一人一人に合わせた対応は出来ていなかった。整理しながら進めるが、数が多かったので取り組めない部分が多々あったので、余裕を持ちながらすすめていけるようにしたい。今まで経験した事のない事が経験できたのは良かったと思うので、活かしていけるようにしていく。
- ・個別対応が必要なクラスとあってか、やはり余裕がない時も多かった。主張の強い子に対しての声掛けが増えてしまい、主張の少ない子に対して目を向ける余裕があまり無かった事を反省する。環境に関しては業務の時間内で子ども達と出来る事は一緒に行ったが、掲示や栽培の部分で力量不足を感じた。上手な人の真似をして向上できるようにしたい。
- ・園歌は歌いながら弾けるようになった。曲のレパートリーは3曲しか増やせなかった。月の歌は1曲は出来る様になることを目標にしていきたい。業務内容の把握(月の製作・チームビルディング等)を少し早めに行ったり、TODOリストを作ったことで見通しをもって担任同士で業務を分担する事ができた。保護者とのコミュニケーションは努力した。継続する。
- ・3歳児が分かりやすい表現はもっともっと工夫が必要だった。次はこうしようと思っているうちに子どもが成長し、変化しているスピードも実感した。植物に関しては、主担任が諦めずに殆ど担当してくれたので、生長して成功していると感じる
- ・ボランティア担当だったが、思っているようには出来ていない。また、どこまでやっていいのかわかり難しさもある。支援では一人一人の子への細かい対応や丁寧な保育を目標に日々、現場と相談しながら保育を行っているが全体的に底上げをしないといけないという思いもある(援助の仕方、保護者対応、障害について、学校連携など)支援会議をしっかりと運営できなかったという反省。フリー保育教諭は、新人2人はほぼ保育に入っていたので、あまり多くはできなかったが、フリー4人をいつもチームととらえ、連絡事項等も伝えることが出来たので、良い関係性は築けたと思う。来年は、今と業務内容が異なるのでとても心配である。皆との良い関係は引き続き持ちながらも物事をしっかりと判断する目を養いたい
- ・全クラスの子どもの名前を覚えることが出来た。また、子ども達へ注意する時に話が長くなっていたので、意識して話を短縮するよう心掛けた。また、声掛けの種類のレパートリーが少ないので、先輩方の声掛けを観察し活かせる様に頑張りたい。
- ・一年の流れをだいたいにつかめるよう努めている。担任の立場になって保育する機会が持てたことで少し自信がついた。会での司会や出し物、トラブル時の対応など、出来ない事や不安も多いため、勉強していきたい。自分で考える力を付けられるようにしたい。
- ・課題だった5歳児のクラスの新入園児の名前を覚えることについては、雑巾干しの時に声を掛けて、名前と顔を一致させるようにしていった。進級園児達がよく雑巾干しを手伝ってくれていたが、その時に一緒に干すのを手伝いに来てくれたり、進級児を介して話し掛けことが出来た。3歳児クラスの対応の難しい子ども達とへの関わり方は、担任に確認しながら対応するようにしていたが、なかなか難しかった。担任へ疑問等を聞くのは、担任の負担にならないようにタイミングを見つけて行っていた。時差勤務ですぐに声を掛けられない事もあり、声を掛けるタイミングを見つける難しさを感じた。